

東京

亀一貿易株式会社

世界へ安全に輸送・輸出 海の向こうの荷物を確実に

亀一貿易は世界各国からの輸入・輸出について、船会社の選定から、各種申請書の手配までを行い、安全に荷物を所定の場所まで運ぶ輸送会社である。道路をふさぐような大型の貨物を得意とし、美術品や危険物、家具や雑貨類なども幅広く請け負い可能。お客様の内情を理解する、顧客に寄り添ったサポートが最大の魅力だ。



活力あふれる亀井社長に対談も大盛り上がり!「輸入品を扱う時は、よろしくお願いします」と小橋。



代表取締役
亀井 清史



現在、海外からの輸出入は約95%が船便。常に海の大きさを眺め、海外の輸送品に触れる運輸の仕事は夢がある。

現場統括から申請業務も お客様の立場で援助する

小橋 貿易と名の付く通り、海外との仕事をされているのですよね。

亀井 我々は国際貿易に関わる物流会社で、諸外国からの輸出・輸入に関わる輸送の関係業務をまるごとコーディネートしています。特にトレーラーや海底パイプライン、外構資材など道をふさぐほどの大型の貨物を扱うことができ、国土交通省などの各省庁への複雑な申請業務も必要に応じサポートします。

小橋 飛行機輸送はともかく、船便はスケジュールが狂いがちなイメージです。

亀井 輸送船はエンジントラブルなども多いのです。我々の役目はミステイクを防ぎ万全に届けることです。その業務は船会社の選定にまで及びます。船齢、船を作った造船所、乗組員の教育まで見定めながら、トラブルを防ぎます。言われたことをするだけの物流会社が多い中で、我々は一歩、お客様の身近に寄り添う考えを持ち、内情を把握して、コーディネートと心掛けています。海路や陸路、税関、梱包など各現場のカンフル剤となりながら、全体を束ねて管理。状況によっては海外にも出張して、輸出入をアレンジします。

小橋 亀井さんはずっとこの仕事を。

亀井 横浜を起点に24年以上、大型の輸送を扱ってきた経験があり、2年前に独立しました。この仕事はたいへん面白くて、未来の明るい業種でもありますので、

Column

亀井さんの祖父は、渋沢栄一が創設した第一国立銀行に勤務されていた。亀井さんの父は、渋沢栄一から名をとって「栄一」という名前だそう。亀一貿易の「一」は、渋沢栄一の「一」でもあり、父・栄一の「一」を受け継ぐ名前でもある。取材は父の栄一さんが使用していたという歴史を感じさせる応接間で行われた。

Tetsujin Point

取材:小橋 建太

明るくて力強い亀井さんのお人柄に惚れました。業界経験も長くて百戦錬磨。この方ならきっと、あらゆる難局を乗り越え、海の向こうからも、海の向こうへも、どんな荷物も届けてくれるであろうと頼もしいです。

ぜひ若い人にも知ってもらいたいです。業界ではデジタル化が進んでいます。私は人が運ぶこと、モノへの愛情こそ大切にしていきたい。大きな話ですが、それが国際平和にもつながると信じています。

小橋 亀井さんは運ぶ荷物だけではなく、ロマンも大きいですね。



亀一貿易株式会社
東京都目黒区平町1-16-22
お問い合わせ先: info@kameichi.co.jp
https://kameichi.co.jp